

琉球藍



Organic
琉球藍



琉球藍とは？①

琉球藍は、キツネノマゴ科イセハナビ属の植物で古くから沖縄で栽培されてきた歴史ある天然染料です。沖縄では日本のスクモ（固形）とは違う泥藍という泥状の染料に加工して藍染め等の染色に用いられてきました。現在、白髪染めの天然染毛料としてはインディゴ（ナンバンコマツナギ・外国産）が使用されているのが一般的です。

「せっかくオーガニック琉球ヘナを使っているのだから、二度染めにも国産の天然染料を使いたい！」

というお声を真摯に受け止め、また沖縄県の地域素材である琉球藍の新たな活用方法を見出したいという思いから琉球藍は誕生しました。



- ・ 沖縄県本部町伊豆味で青々と育つ琉球藍

琉球藍とは？②

琉球藍は土壤に恵まれた沖縄県の北部、本部町伊豆味で昔ながらの藍農家さんの手で丹念に育てられています。そこから厳選され収穫された良質な原料を県内、ご使用されるみなさまの目の届く距離で、独自ノウハウを用いた加工（特許取得済み第5733669）から商品化まで行っています。

これまでのインディゴとの違いは？

琉球藍の最大の特徴としては頭皮に対する刺激がほとんど感じられないことです。（安全性試験済）

これまで同じく天然染毛料であるヘナ染めを行った後に外国産のインディゴ染料を使用し、黒染めを行う過程で、お肌が弱くこれまでインディゴの使用を断念した方でも、琉球藍ならほとんど刺激を受けることなく安全に黒髪に仕上げる事が出来るようになりました。

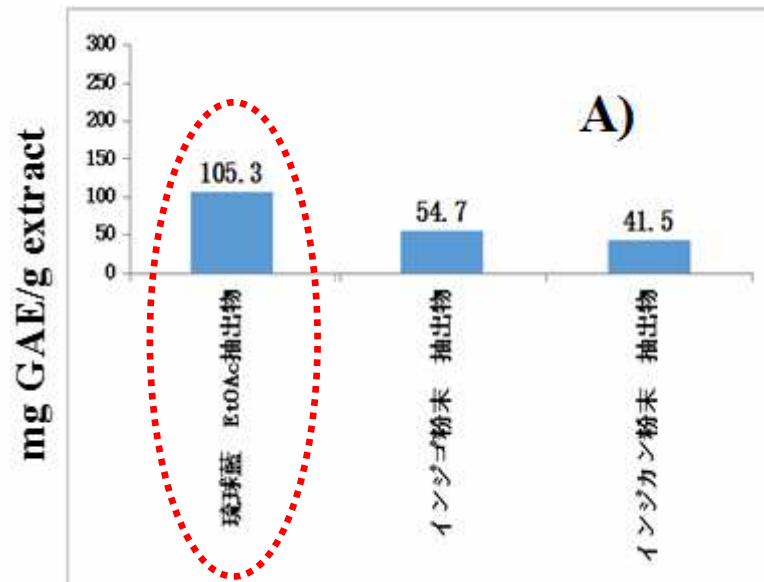
琉球藍の持つ抗酸化作用

・ 抗酸化作用とは？

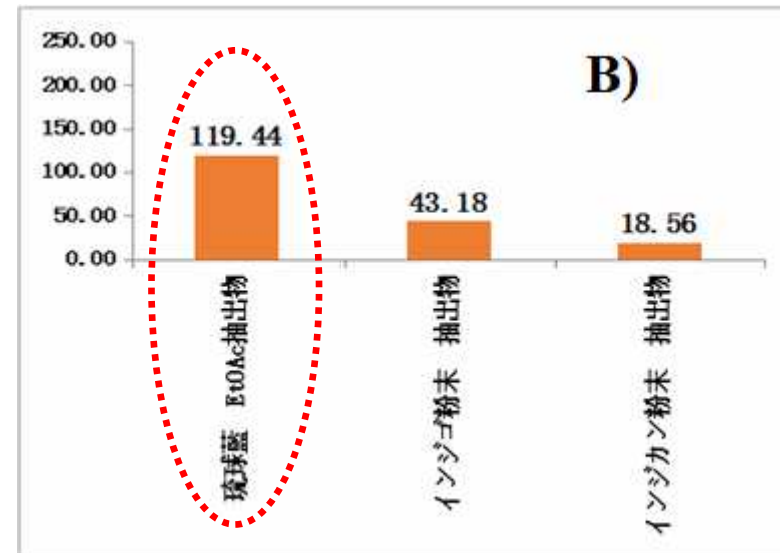
人間が呼吸をすると、体内に「活性酸素」ができ、体内の細胞に損傷を与えて癌の原因になったり、シミ・シワといった老化引き起こしたりします。活性酸素は、外的ストレスやタバコなどでも生じ、その過剰になった活性酸素を減らすことを「抗酸化作用」と言います。巷では「抗酸化作用」のことを「アンチエイジング」と称することもあります。



琉球藍でアンチエイジング！！



A)フェノール含有量



B)フラボノイド含有量

独自研究における琉球藍各種抗酸化実験（琉球大学農学部研究室）から、琉球藍の抽出物には既存インディゴ染料に比べて多量のフェノール類・ポリフェノール類化合物が含まれていることがわかりました。
琉球藍で白髪を染めつつ、頭皮から老化を防ぎましょう！！

琉球藍染め使用方法

※本染毛料のみをご使用されても自然な黒髪にならない場合（単体での使用だと藍色もしくは紫色の発色になります）がございますので、必ずヘナ染めを行った後にご使用ください。

1 琉球藍ペーストを作る



- ・使う分の琉球藍粉末をボウルに入れ、常温水またはぬるま湯を少しずつ加えて、泡立て器等でマヨネーズくらいの固さを目安に混ぜていきます。

2 髪を湿らせる



- ・琉球藍ペーストを塗布する前に髪を湿らせておきましょう。
- ・リンス、トリートメント、ヘアケア剤を使用している場合は事前にシャンプーで洗い流してください。

3 琉球藍ペーストを塗る



- ・この手順の際、ハケがあると塗布が行いやすくなります。
- ・白髪の気になる部分から塗布します。根元からしっかり塗り、毛先まで塗ったら頭皮全体をマッサージするように揉み込みます。
- ・ロングの方は、髪をだんご状に丸めて頭につけると扱いやすくなります。

4 ラップをして放置する



- ・髪全体をラップで包みます。髪が浮いていると染まりにくい場合があるため、ラップでピタッとくっつけ、80分待ちます。
- ・顔や首についた琉球藍ペーストは、お肌への着色を防ぐためなるべく早めに濡らしたタオルやティッシュで拭き取ってください。

5 髪を洗い流す



- ・待ち時間が来たら琉球藍ペーストを綺麗に洗い流して終了です。
- ・琉球藍染めを行った日はより発色を促すためシャンプーを控え、お湯洗いのみで済まされることを強くおすすめします。